
スレチガイ

真亜流

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スレチガイ

【Nコード】

N7263C

【作者名】

真亜流

【あらすじ】

柴田成幸は高3。勉強嫌いで遊び大好き。そんな成の悩みは隣のクラスの早川奈留。ただの友達。成はそう思ってる。だけど奈留は？

第1話〜日常〜

「柴田……おい、柴田……」

ぼんやり聞こえる。起きなきゃ……

「おい。こら。授業中居眠りなんかして」国語担当岡村が目の前にいる。

「せんせ……すみません……」成幸は寝ぼけながらいった。

近くの女子生徒がクスクス笑っていた。

「柴田。後で隣の教室でな」チャイムが鳴った。

岡村が教書で軽く成幸の頭部をはたきながら、待つとるぞ。といった。

くそ……

5分間の説教は異常に長く感じられ、早々下校しようとした。

「柴田くん」隣のクラスの早川奈留。

「あれ？珍し。1人なん」成幸の横にまわる。

「う……うん」怒られてたつていけない。

「じゃ一緒に帰らん？1人だと危ないやろ」

おまえにいわれるとこっちの立場が無いだろーが。

「ごめん。今日塾なんや。早川みたいなノロマ付きあわせるとこ
ちが迷惑なんだね」

成幸は足早に去っていった。

「成のばーか……」奈留は呟いてみたが成幸には届くはず
がなかった。

塾というのは嘘。これから宮崎の家に行って新作のゲームでもやら
せてもらおう。

「成幸！あんた高3やろ。宿題もせんで」母が怒鳴ってるけど無視！

それから奈留からの電話は1度もこなかった。

正直ちよつと気にしてたけど。

いつも電話かメールがくるのだ。

そう思ったときメールがきた。『ばか』

「ツクク」息をこらして冷ややかに笑っていた。

怒ってるな。早川。

早川奈留とは恋愛対象としては見ていない。

そう、ただの友達。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7263c/>

スレチガイ

2010年10月28日08時20分発行